

第21回（令和6（2024）年度）日本学術振興会賞 提出書類（様式1～4）の記入要領

【共通事項】

- ・日本語で記入してください。様式3及び様式4は英語での記入も可能です。
- ・カラー可。
- ・様式は加工しないでください。頁の追加・削除等はできません。
※ただし、様式4の「Ⅱ【研究業績】」については、必要がある場合は当該頁の追加が可能です。
- ・本会が指定した書類以外のものを添付することはできません。また、新たに用紙を加えることもできません。
- ・電子申請システムの利用にあたっては、2月下旬公開予定の「第21回（令和6（2024）年度）日本学術振興会賞 電子申請システム入力マニュアル」を必ず参照してください。
- ・電子申請システム上、日本語・英語（アルファベット）以外の言語や特殊文字は、入力できません。氏名・固有名詞等、特殊文字等が含まれる場合は、カタカナまたはアルファベットで入力した上で、正しい文字を事務局宛にメールでご連絡ください。

【様式1 記入方法】

1. 「推薦機関名又は推薦者所属機関名」、「機関長名又は推薦者名」
電子申請システム上の推薦者情報入力において、推薦者の機関名及び氏名を記入してください。該当項目に入力された情報が様式1に反映されます。
2. 「戸籍名」
電子申請システム該当項目に候補者の戸籍名を記入してください。また、本項目以外の候補者氏名記入欄に関しては、様式2③氏名と一致させたものを記入してください。（下記【様式2 記入方法】の「4. ③氏名」を参照してください。）
3. 「推薦書に関する連絡担当者・連絡先」
電子申請システム上の推薦者情報入力において、連絡担当者及び連絡先を記入してください。該当項目に入力された情報が様式1に反映されます。
なお、受賞候補者本人が連絡担当者となることはできません。機関長推薦の場合は、大学等研究機関又は学協会の事務担当者等としてください。個人推薦の場合は、推薦者が連絡担当者を兼ねることが可能です。

【様式2 記入方法】

1. 「①区分」
本会ウェブサイトに掲載している「コード・区分一覧」(<https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/jsps-prize/data/fuhyou.pdf>)を参照して、候補者の所属研究科等にかかわらず、研究テーマに最も合致すると思われる「コード・区分」を一つ又は二つ選択してください。
2. 「②専門分野」
候補者が現在専門としている分野を簡潔に記入してください。

3. 「③氏名」

候補者の氏名を記入してください。研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、それを用いることができます。

氏名は漢字等により記入し、ローマ字表記及びフリガナを併記してください。ローマ字表記の姓は全て大文字としてください。

記入例：ローマ字 姓 GAKUSHIN 名 Hanako
カタカナ 姓 ガクシン 名 ハナコ
氏 名 姓 学振 名 花子

外国人の場合も姓・名の順で記入し、姓は全て大文字としてください。漢字で記入できない場合は、姓名はカタカナで記入してください。ミドルネームは「名」の欄にイニシャル（アルファベット）のみを記入してください。

記入例：ローマ字 姓 NEWTON 名 S. Isaac
カタカナ 姓 ニュートン 名 S. アイザック
氏 名 姓 ニュートン 名 S. アイザック

4. 「④性別」

該当する性別を選択してください。

5. 「⑤国籍」

該当するものを記入してください。デフォルトで日本と表示するように設定されていますので、外国籍の場合は修正してください。

6. 「⑥生年月日」

西暦で記入してください。また、月日は選択してください。年齢は自動計算により表示されません。

7. 「⑦連絡先」

連絡先として希望するいずれかを選択してください。

8. 「⑧現職」

作成時点での現職を1つのみ記入してください。

なお、現職が複数ある場合は、「⑩略歴」欄に記入してください。

9. 「⑨勤務先又は自宅住所」

「⑦連絡先」で選択した勤務先又は自宅について、作成時点での住所を記入してください。

なお、連絡先は日本国内に限ります。日本国内に住所がない場合でも、実家等国内の住所を記入してください。

10. 「⑩略歴」

4. の博士（ ）内には、取得した博士の学位に付記された専攻分野名を記入し、末尾の（ ）内に大学名を記入してください。

また、博士課程を単位取得退学の場合は、3. にその旨を記載してください。

なお、博士の学位を取得していない候補者は、博士号取得者と同等以上の学術研究能力を有す

ることが確認できる書面（様式任意）が必要となりますので、様式2～4とともにスキャンし、ファイルの一番後ろへ添付してご提出ください。

⑩略歴 4. の記入例：

「4. 2015年3月 博士（医学）の学位取得（〇〇大学）」

大学等研究機関（民間企業を含む）に採用歴のある者は、採用開始年月と職名等を記入してください。現在の職には末尾に「（現在に至る）」と記入してください。現職が複数ある場合は、それぞれの職の末尾に「（現在に至る）」と記入してください。なお、兼務については記入する必要はありません。

⑩略歴 5. ～の記入例：

「7. 2016年4月 〇〇大学〇〇研究科助教

8. 2021年4月 〇〇大学〇〇研究科准教授（現在に至る）」

なお、入力欄が不足する場合、助教・准教授等、同一部局での職変更については、一つの欄にまとめても構いません。また、海外での研究経歴について、「⑪海外での研究経歴」に記入されていれば「⑩略歴」には記入がなくても構いません。

⑩略歴 5. ～の記入例：

「7. 2016年4月 〇〇大学〇〇研究科助教、2021年4月より准教授」

また、外国人研究者にあつては、本欄で資格要件（我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属）を確認することとなりますので、我が国での研究活動歴を必ず記入してください。

1 1. 「⑪海外での研究経歴」

海外での研究経歴がある候補者はその旨記入してください。

なお、記入対象は概ね1ヶ月以上の海外での研究経歴とします。

⑪海外での研究経歴の記入例：

「2016年7月～2016年9月 〇〇大学訪問研究員（英国）」

1 2. （大学等研究機関からの推薦のみ）「⑫出産・育児による休業等」

該当するいずれかの選択肢を選択してください。

なお、③を選択できるのは推薦機関で候補者を雇用しており、人事記録等により確認できる候補者の出産・育児による休業等（休暇、休職、離職を含む。）に伴う研究活動の中断期間が通算3ヶ月以上であることを推薦者が認める場合に限りです。

③を選んだ場合は「[③44歳以上で該当ありを選んだ場合のみ]休業期間の詳細」記入欄へ休業等に伴う研究活動の中断期間の数字を1ヶ月単位でご入力ください。なお、中断期間は通算でご入力ください。

記載例：

3ヶ月の場合→「3」

1年の場合→「12」

第1子で2ヶ月、第2子で2ヶ月の場合→「4」

また、休業等に伴う研究活動の中断状況を全角40字以内（記号、数字等もすべて1字として数えます。）で簡潔に記入してください。40字以内で収まらない場合は、「⑭推薦理由」内に簡潔に記載してください。

記載例：

2015年8月～2016年1月 第1子の出産・育児のため6ヶ月研究中断

※学協会からの推薦や個人推薦の場合は、様式2の⑫には自動的に「学協会からの推薦または個人推薦のため該当なし」の文言が表示されます。

13. 「⑬研究テーマ」

和文で全角40字以内（記号、数字等もすべて1字として数えます。）で簡潔に記入してください。化学記号、略号はできる限り避けてください。また、上段に和文、下段にその英訳を記入してください。

14. 「推薦機関又は推薦者」

電子申請システム上の推薦者情報入力において、該当項目に入力された情報が様式2に反映されます。

「機関長名又は推薦者名」への署名又は職印の押印は不要です。ただし、推薦機関の規程等により押印が必要とされる場合は、押印を妨げません。

15. 「推薦理由書作成者」

候補者の研究業績及び推薦書の妥当性に関し、様式3を作成する者です（2名必要です）。候補者の研究をよく理解している研究者とし、少なくとも1通は候補者の所属機関以外の研究者が作成することが望ましいです。日本国籍を有しない研究者又は海外在住の日本国籍を有する研究者も推薦理由書作成者となることができます。

なお、推薦理由書作成者は、推薦者又は候補者と同一人物であってはなりません。

16. 「⑭推薦理由」

字数の制限はありませんが、様式に収まるよう記入してください。なお、専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容となるような記述が望ましいです。

17. 「【候補者氏名】」

各ページの「【候補者氏名】」欄に、「③氏名」に記入した候補者の氏名を記入してください。

【様式3 記入方法】

様式2に記載された「推薦理由書作成者A」が様式3-1を、「推薦理由書作成者B」が様式3-2を作成してください。

署名については自署または電子画像による署名としてください。自署の場合、署名された様式をスキャンして提出してください。

なお、推薦理由書作成者が日本語を解さない場合、様式3-1及び様式3-2は、それぞれ英語版のForm 3-1及びForm 3-2に代えることができます。

【様式4 記入方法】

1. 「I 研究の概要」

様式内の記載方法を参照してください。なお、様式内にある記載方法に関する記述の枠は削除しないでください。

2. 「Ⅱ 研究業績（主な論文又は著書等一覧）」

論文及び著書等については、原則全著者名を記載してください。ただし、著者名が著しく多い場合には、グループ名等にまとめてください。

また、未公表であるものの、学術誌へ掲載が決定されている論文については、「掲載誌名」の後に、「掲載決定通知の年月（状況）」を記入してください。

・「（状況）」の記載例・・・accepted、in press、forthcoming など

なお、産業財産権（特許権、実用新案権等）についても、権利が発生している場合に限り、本欄に記載可能です。

研究業績数が多い場合は、8頁の様式を9頁以降に追加することができます。追加できるページ数の上限はありませんが、追加ページを含む「Ⅱ 研究業績（主な論文又は著書等一覧）」の次のページに「Ⅲ 過去に受けた主な賞」が来るようにしてください。

その他、記入に当たっては様式内の記載方法を参照してください。なお、様式内にある記載方法に関する記述の枠は削除しないでください。

3. 「Ⅲ 過去に受けた主な賞」

過去に受けた主な賞がある場合は、1ページ以内で記載してください。該当がない場合は、「特になし」と記載してください。

【様式4別紙記入方法】

1. 「コード・区分」

様式2の「①区分」に記載した「コード・区分」を記載してください。様式2で二つ記載した場合は、二つとも記載してください。

2. 「番号」、「特に重要な論文又は著書等の題名」

様式4の「Ⅱ 研究業績（主な論文又は著書等一覧）」で、特に重要な論文又は著書等（5件以内）として○印を付けた業績の番号及び業績名に一致するものを記載してください。